

J A R L

香川クラブ報

No. 312 平成12年10月15日



第8回北四国ARDF大会において

J A 5 Y D E

クラブミーティングのご案内

先日(10月6日 13:30 頃)は鳥取県西部において大規模な地震が発生し、皆さん方の住んでいる場所でもかなり揺れてビックリしたんじゃないでしょうか。

私の勤務する建物はまだ新しく、しかも耐震工法がなされているので「少し揺れてるな」と感じたぐらいでしたが、その後次々に飛びこんでくるニュースや情報で事の重大さに驚きました。家族のことが心配で電話をしましたが「ただいま電話が込んでおりつながり難しくなっています」との放送があり、気を揉んだのは私だけではなかったんじゃないでしょうか。

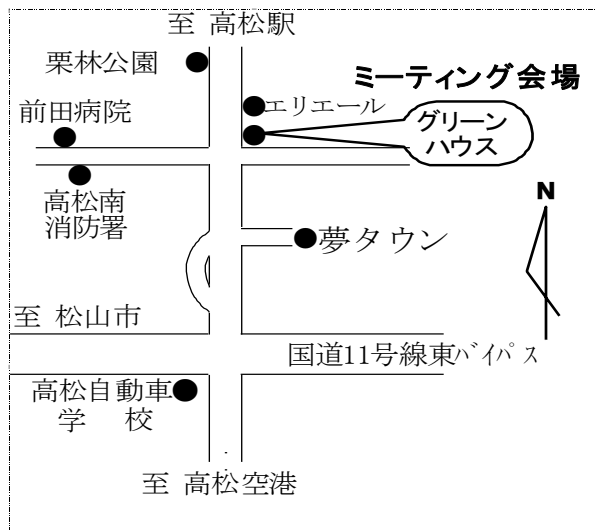
幸い昼間だったのと阪神淡路大震災のときのような大都市でなかったのや地震の性質の違いから一人の死者も出ず、大地震の割には人的被害が最小限に食い止められたようですがライフラインに混乱をきたし、家屋の損壊などで避難生活を余儀なくされている方たちもたくさんいます。

北海道の有珠山や伊豆の三宅島を始め近年、日本列島のあちこちで火山の噴火や大地震が群発しており安閑としておれない気持ちになります。

もしかしたら、今回の山陰地方の大地震が南海地震の前触れだとしてたらと思うと不安になります。災害の少ない讃岐平野だと過信していると、とんでもないことになる恐れは十分にあります。

前月号の中でも記事にしましたが、日頃から防災訓練を始め非常通信訓練や人工呼吸の方法の熟知など、防災意識の向上を図り非常時に慌てふためかないような心構えが必要でしょう。

さて、クラブミーティングを下記のとおりおこないますので、お忙しいとは存じますが万障お繰り合わせの上ご参加くださいますようお願い申し上げます。



記

日時： 11月6日(月) 19:30から

場所： グリーンハウス(東ハゼ町)

- 議題： 1. クラブ忘年会について
2. 高松市政111周年行事について
3. その他

盛況の第8回北四国ARDF大会

JARL愛媛県支部と香川県支部が、毎年交互に開催している北四国ARDF競技大会が、去る9月17日に開催されました。今年は香川県支部の主催で高松市南部の公渚森林公園を会場にして競技が行われました。

公渚森林公園を会場にした大会は、過去に香川県FOXテーリング大会、四国地方ARDF大会が開催されており今回が3回目の開催となりました。

私は選手としての参加は今回が初めてでしたが、かつての大会では審判長を務め、またここで4年間も勤務していたので地形は知り尽くしており、「まあ気楽に参加」と



思っていました。

大会には遠くは鹿児島県、宮崎県や石川県からの参加を含め42名が熱戦を繰り広げました。恒例の開会式で少し気になる挨拶がJA5MG 稲毛OMからあり、一緒に参加しているローカルー同思わず顔を見合わせました。

(この件については以後の記事「ARDF気になる発言」や「ARDF地方競技大会について」で記述します)

審判長には当クラブの会員でARDF競技の一人者でもあるJF5MED山田OMが担当し、今大会のレベルの高さが伺われる予感がしました。(実際そうでした)

今年は天候にも恵まれ、昨年の大会のような暑さもなく、一人の体調不良者も出さず無事全員がゴールすることができました。

成績は下記のとおりでした。(クラブ員のみ)

＜ARDF北四国大会＞ 平成12年9月17日 香川県公渚森林公園

クラス	大会順位	コールサイン	所要時間	探索個数	備考
Y L	4位	J F 5 I C B	1時間 40分 15秒	2個	アップダウンも少なく、距離もたいしたことなく、見た目簡単そうでしたが難しい大会でした
	5位	J F 5 E A P	1時間 57分 15秒	2個	
	6位	J I 5 V W A	1時間 40分 20秒	1個	
O M	2位	J F 5 I C A	1時間 44分 31秒	3個	
	失格	J I 5 S A O	2時間 06分 25秒	1個	
O T	2位	J H 5 L Y W	1時間 47分 29秒	3個(4)	

今大会は香川県支部主催ですので審判長のJF5MED始め多くの方が審判団に回り、クラブ員の参加者は少なかったのですが、審判に回った人たちも今後の競技の参考になることでしょう。なお、審判としてご協力頂いた方は下記のとおりです。

JA5MG/JA5TFJ/JA5TOP/JH5PRJ/JE5PBO
JF5MED/JG5OBX/JG5RST/JG5TJJ

メモリーキーヤーを製作

各局F Bにご活躍のことと存じます。最近の私のHAMライフは、CWコンテストに参加したり、各種機器の製作などにチャレンジしています。

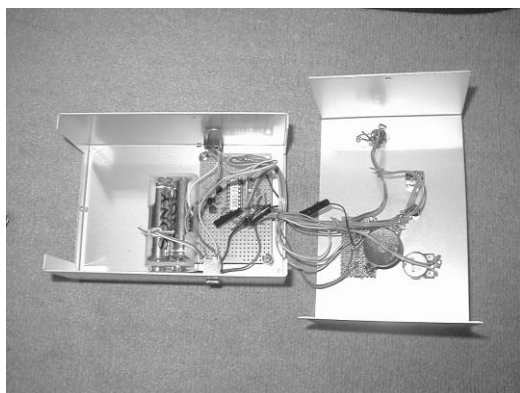
クラブ報の記事を募集ということで先日製作したメモリーキーヤーについて少し記述してみます。CQ誌9月号の記事に製作例(製作者:日高弘OM)があり、各コンテストに活用できると思い製作致しましたので報告致します。

<機能&感想>

- 1) メッセージの内容はパドルから入力できる。

「CQ CQ CQ DE JE5EQQ JE5EQQ JE5EQQ/5 QTH TAKAMATSU CITY AR K」
とメモリできる。

- 2) リピート機能により繰り返し送信ができる。
- 3) メモリ容量が表示する。(LED4個)
- 4) スピードコントロールがVRで可変調整できる。
- 5) 部品点数が少ない。
- 6) P I Cマイコンを使用している為、コンパクトに製作できる。
- 7) プログラムは日高OMから頂き、P I Cライターで書き込みしました。
- 8) 電源はDC6Vで乾電池4本を使用。



<使用感想>

電源をONするとQ R Vとブザー音が鳴り (1) のメッセージをパドルから入力し、スタート釦を押すと、メッセージが送信され、モニター音も同時に鳴ります。注意点は、スタート釦を3秒以上押すとメッセージがリセットしますのでこの点が必要が必要です。

<最後に>

P I C製作記事は今までに何度かありますが一度製作すると、色々な疑問点が出てきて難しいことはわからず挑戦しています。皆さんも是非興味がある方は挑戦して下さい。詳しくは下記のアドレスです。

日高 弘OMのホームページは

U R L <http://www.hi-ho.ne.jp/hida>

今年の全市全郡を始め、しばらくはこのキーヤーを使用し各種コンテストなどに参加しますので宜しくお願いします。



F Bな原稿ありがとうございました。この記事に刺激されまた製作意欲が出てきた人もいるのではないのでしょうか。広瀬OMまたF Bな記事をお願いします。

売りたいし、リグ

DE JR5EHB

メーカー名	機種名	備 考
YAESU	FT-101ES	H F (10W)、純正ハンドマイク付き、取説有 東芝 S2001A 終段用真空管付
KENWOOD	TS-680S	H F +50MHz (50W)、箱、取説有 (100W に戻せます)
	AT-250	TS680 用オートアンテナチューナ、箱、取説有
TRIO	TS-820V	H F (10W)、箱、取説有、SYLVANIA6146B 終段用真空管付
	VF0-820	TS820 用外部 VF0、箱、取説有
	AT-200	TS820 用オートアンテナチューナ、箱、取説有
	SP-820	TS820 用外部スピーカ、箱、取説有
YAESU	FRG-7	H Fゼネラル受信機 (若干調整が必要)、箱、取説有
NATIONAL	RJX-610	50MHzCW/SSB 機 (10W)、純正ハンドマイク付き、箱、取説有
ICOM	IC-271	144MHz オールモード機 (10W)、純正ハンドマイク付き、箱、取説有
ICOM	IC-371	430MHz オールモード機 (10W)、純正ハンドマイク付き、箱、取説有
TRIO	MC50	4 ヒンマイクホン (PTT のロックが破損)
PRIMO	DM1487	4 ヒンマイクホン
STANDARD	C88	144MHzFM ポータブル機、モバイルフック (CM88) 付き
東京ハイパー	HL33V	144MHz 用リニヤアンプ (30W)

上記商品は全て (株) 電化センターに委託品として預けてありますので現品を確認の際は、石川さん、または吉田さんまでお声がけ下さい。

価格はCQ誌のハム交換室やCQ誌掲載の中古販売業者の価格よりかなり？安めに設定しているつもりです。

これで良いのか J A R L

昨今、JARLの現状が激変し各種改革改正？がなされており、中には本当にそれで良いのかと疑いたくなるような改悪？もなされております。
現状を見つめるにつけ、ある程度の変革は仕方がないと理解しているつもりではありますが、今回はどうにも納得のいかない“怪変”がなされました。
次の記事は先日JARL四国地方本部長に対して送ったメールです。

ARDF気になる発言

JH5LYW

先日の北四国ARDF大会において、稲毛OMがARDFの開催方法について気になる発言がなされていまして、質問がてら私のいやARDFを楽しむローカル各局の意見も含めて抗議したいと思います。

解釈が間違っているかも知れませんが勘違いがあるかも知れませんが、下記の2点だったように思うのですが。

1. 全日本ARDF大会の地方予選をなくし、または地方大会に参加しなくても誰で

も参加できる大会にしたい。

2. 地方ARDF大会については、開催スタッフの人手が集まらず、どの大会でも苦
労しているので大会要項を見直し、規約をゆるくしたい。

まず1. についてですが

地方予選をなくすることは、全日本大会の必要性や意義がなくなるのではないで
しょうか？以前の制度では、実力があっても所用で地方大会に参加できなければ全日本
大会への道を閉ざされていたので、もっと良い方法はないかと思っていましたら、「希
望参加」が認められました。お陰で地元の地方大会に参加できなくても、近くの地方
大会に参加して権利を得れば全日本大会に参加の道が開けることになりましたので
大賛成でした。また、参加する人達にとっても「地方大会にちゃんと参加した」とい
う証明でもあり、全日本大会に参加する意義でもありました。

ところが、地方大会に参加の必要性がなくなれば全日本大会の意義は何なのでしょう
か？「全日本ARDF大会」と銘打ったただの地方大会でしかないのではないでしょ
うか。もし、これが私の勘違いじゃなく実施されるようになればARDFは止めない
までも、全日本大会への参加はしなくなるでしょう。高い経費をXYLに頼んでまで
参加する意義が全くなくなるからです。

たださえARDF大会に対しては競技をやらない人達から「経費の無駄遣い」な
どと批判されているのに、参加規定のないただの地方大会に「全日本ARDF大会」
なんて御旗を掲げて、年に一回どこかで開催するなんて事になれば、私でもJARL
を批判しますよ。

地方大会の枠を広げ、支部主催の大会でも「希望参加」を認めるというならまだし
も、「全日本大会への参加は自由ですよ」なんて事になればすくなくとも、私にとっ
てはARDFとJARLそのものが色あせたものになることでしょう。FOXテーリ
ングも残っていますので、そちらに鞍替えすることになるかもしれません。

次に2. についてですが

どのような競技であつてもきちんと定められたルールがあり、そのルールに則って
技を競いあうことによりその競技のおもしろさ楽しさがあるのです。

ルールが定められているにも関わらず、それを無視するならばそれは競技とは言いま
せん。たしかに昨今のアマチュア無線人口の減少等問題はあるでしょうが、それをそ
のままルール無視を認めるなんて事になれば、ARDF実施規定なんて必要ないでし
ょう。「ルールはありますが主催者が勝手にやって下さいよ」なんてことになったら、
それこそ参加者なんていなくなるんじゃないでしょうか。

以前、クロッケーとゲートボールという2つのレクリエーションスポーツが生まれ、
方や競技性よりレクリエーションに重点を置き、方や競技性に重点を置いただけの違い
で内容的にはほとんど同じものでしたが結果はどうでしょうか？

人間は本能的に闘争本能を持っています。JARLの大会を始めどのような催し物で
も同じですが、抽選会など闘争本能を刺激するものがあれば盛り上がるものです。
主催方法に工夫をし、少人数でも開催できるよう前向きな検討をするならまだしも、
ARDFそのものの意義を否定するようなことだけは避けてほしいと思います。

以前、米子でルール全く無視のでたらめな大会がありましたが「鳥取県支部ARDF
大会」として開催されました。諸事情で「一部ローカルルール適用」ならまだしも、
この大会には「二度と参加しない」と参加者全員が口を揃えるなどは論外じゃないで
しょうか。ルールを甘くしたからと言って競技人口が増えるものなのではないでしょ
うか。それよりは、よりきちんとした大会を開催し現在参加している人達から少しでも輪
を広げていく方が中身の濃い趣味になっていくのじゃないでしょうか。

私の近くでも最近参加者がずいぶん増えました。

(中略)

なかには、大会にけちを付けるのを楽しみ？しているような人達がいるのも確かで、そんな時には「そこまで言われて何で審判なんかやれるか」という人もいます。いちいちけちを付ける参加者にも問題はありますが、それだけでしょうか？

(中略)

以前、JARLの理事が「ARDFを国民体育大会の競技種目に加えられるようなものにしたい」なんて大きいことを言っていました。時代の流れの中でJARLのあり方が見直され、改善されつつありますが、自らそのものを否定するような方向や、本当にHAMを愛するものからそっぽを向かれるようなことは、くれぐれも避けてほしいと思うのは私一人ではないと思います。

ARDFがHAMの中でいつまでも生き続け、本来の方向性を見失わず、受信能力や方位探査の技術的向上、地図判読の技術や磁石等の使い方の向上、スポーツとしての付加価値の高いこの競技を健全にしかも厳格に開催し続けられるよう節に望むものであります。

以上

ARDFをやらない人がARDFをやらない人の意見を聞き、ARDFの規則を捻じ曲げるようなやり方が正しいと言えるでしょうか。一体どのような審議がなされたのでしょうか？審議が尽くされた中で最善の方法に決定したとはどうしても思えません。少なくとも私には寝耳に水状態でしたが…。

QSLカードの隔月発送、JARL NEWSの一部隔月送付とか、県支部の統廃合問題とか、JARLの今後を憂うにつけ、どうしても皆さん方に知っていただきたく記載することにしました。皆さんは今のJARLの現状についてどう思われますか、ぜひご意見をお聞かせ頂ければ幸いです。

なお、次の記事は私の質問に対する稲毛OMの回答です。

ARDF 地方競技大会について

JA5MG 稲毛 章

四国地方のARDF 競技大会は、全国の中でも熱心な選手がおられて、その中でも香川県内では多くの方がARDFを楽しんでいて、大変盛んになっていることは喜ばしい限りです。香川クラブの中にも愛好者がたくさんおられますので、今回の地方大会開催が一部改正になったことについて簡単に説明させていただきます。

今まで地方競技大会は全国ARDF大会の選抜を兼ねて開催していましたが、来年からは地方大会参加の義務をはずすことになりました。「選手としては参加の意欲が薄れてしまう。ルールを簡単にされたのでは面白みがない。」と云うような趣旨です。私個人としてはこれらの方々の気持ちは良くわかります。

そこで、主催者「JARL」として今回改正の理由を申し上げますと、結論としては世話をする審判員を含めた世話人が少なくなつて、地方大会が開催できないことです。北陸や北海道では世話人がいなくて開催が困難。他のエリアでも選手20名ぐらゐに世話人がそれ以上も必要である。ということで、地方大会を義務づけていると、これらの開催できない地区の人たちは全国大会に参加できないという不公平が生じることになる。

ルールにしても、世界大会に準ずるような現行ではなくて、初心者も参加しやすい、審判団の人数が少なくても出来るような方法にしてはどうかと云われています。要は世話人、審判員側の問題で今回の改正が出たわけで、いろいろ案はあるわけで、

これらについてはARDF委員会で検討されることになっています。

ここ数年の参加者を見ると数百名のベテラン選手に固定化したように感じられ、初心者にしては難しく参加しにくいという声も聞かれるそうで、ARDF人口の底辺を広げることも必要ではないでしょうか。

(短い活字だけでは、私の意を十分に云いつくせませんが、その点ご了承下さい。)

★★★ 新入会員募集中 ★★★

JARL 香川クラブでは、新入会員を募集しています。
クラブ結成50周年行事も終了し、更なる飛躍と新たな歴史を築いていかなければなりません。
クラブに新風を吹き込むためにも、新入会員の募集にご協力ください。

JARL 香川クラブでは、会員サービスのために無線局免許状の期限切れについてお知らせをしていますが、免許状記載事項に変更があったり、新たに無線局免許状を取得した方は、その都度お知らせくださいますようお願いします。

特に、家族会員の方が十分に把握できていません。

せっかく取得したコールサインを流し、また再開局するのは不経済です。

*** 連絡先 JH5WMN 山口博司 方

将来のインターネットサービスに対応して、現在「電子メールアドレス」を取得している方は、差し支えなければ連絡下さい。

Eメール：JH5LYW

JH5WMN

前年度までの会費が未納の方は早急に納入をお願いします。
また、平成12年度会費につきましても早急に納入をお願いします。

*** 会費納入口座

JARL 香川クラブ ***

JARL 香川クラブ報

発行責任者	JA5AHM	天野 英弘
編 集 者	JA5TFJ	横 田 壽 夫
	JH5LYW	三 好 伸 幸
	JH5WMN	山 口 博 司
	JE5PBO	岡 田 光
事 務 所 〒		天 野 英 弘 方
TEL :		
郵便振替口座		JARL香川クラブ